

HOPE plus

[市立芦屋病院だより]



新病院長ごあいさつ

市立芦屋病院 病院長

みなみ
南

まさと
正人



令和4年4月1日より市立芦屋病院の病院長を拝命いたしました 南 正人 と申します。自己紹介ならびにご挨拶を申し上げます。

私は、昭和57年に大阪大学を卒業後、大学で1年間、愛媛県松山市の郊外にある療養所で2年半、大阪府堺市の労災病院で2年間の修練の後に大阪大学医学部附属病院に戻りました。以来、呼吸器外科医として、また直近15年間は併せて手術部門の仕事にも携ってまいりました。一貫して国家公務員、法人職員という公的な立場におりましたが、今後は地方公務員として芦屋市に奉職させていただく次第です。

2019年度に端を発した新型コロナウイルスの大流行は形を変えながら2年を越えて蔓延しており、まだまだ終息が見えない状況です。今後どのように柔軟に対応して行くかの重要な判断が求められます。平行して、着実に進んで行く地域の高齢化の中で、芦屋市の中核病院として地域に求められる医療を提供して行かねばなりません。当院が専門とする分野を伸ばし、優秀な人材

を活かしながら、経営計画をさらに進め、特にがん対策の強化、救急医療体制の強化、超高齢化社会への対応、地域医療への貢献、優れた医療従事者の確保と育成という5つの事項に重点的に取り組んでまいります。病院を取り巻く環境は、医療面でも、経営面においても大変厳しいものがありますが、健全な経営にたってこそ真に良質な医療の提供が可能ですので、一層の財務内容の改善を目指します。そして市民の皆様に、ここがあつてよかったと思っていただけるよう、職員の皆様がここで働けて良かったと誇れるような、そのような病院であり続けられるよう全力で取り組みたいと思います。

これまでの病院長の先生方が、市立芦屋病院における診療経験を重ねられた後に、病院長に就任されていることと比べますと、職員としての経歴、職員の皆様とのご縁のないままに着任いたしましたので、見知るものすべてが初めてのままに職掌を進めなくてはならないハンデがございます。しかし、今さら聞けないといったことは何もないというメリットを活かし、職員の皆様に教えを乞いながら進んでまいりたいと思います。私自身が芦屋市で生まれて25歳まで居住しており、家族一同も少なからず市立芦屋病院にお世話になってまいりました。長く芦屋市の空気を吸い、現在も西宮市に在住して共通の地域感覚を持ち合わせていることは代えがたいものです。本院の理念あります、あい、しあわせ、やさしさを掲げながら、私自身は、愛着、親しみ、やる気で臨ませていただく所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

略歴

昭和57年	大阪大学医学部卒業
	大阪大学医学部附属病院 研修医
昭和58年	国立療養所愛媛病院外科勤務
昭和61年	大阪労災病院外科勤務
昭和63年	大阪大学医学部第一外科 研究生
平成2年	大阪大学医学部附属病院 医員
平成3年	大阪大学医学部 助手
平成19年	大阪大学医学部附属病院手術部 助教
平成20年	大阪大学医学部附属病院手術部 副部長・准教授
平成24年	大阪大学医学部附属病院手術部 部長・病院教授
令和3年	大阪大学医学部附属病院手術部 部長・特任教授

専門分野

呼吸器外科／移植医療／手術医学／医療機器

新任Drのご紹介



一言コメント

大阪大学病院、大阪府立成人病センターや関西労災病院などで培った、消化器癌の治療、腹部の緊急手術等の経験を生かします。

診療科 外科
専門分野 消化器外科
さきさか ひでき
向坂 英樹

【資格】
外科学会専門医／消化器外科専門医／大腸肛門病学会指導医／内視鏡外科学会技術認定医など



診療科 産婦人科
専門分野 産婦人科全般
やすだ みき
安田 美樹

一言コメント

4月より赴任いたしました。よろしくお願ひいたします。これまで大阪、尼崎の総合病院で産婦人科全般の診療に携わってきました。安心して受診していただけるよう、患者さんに寄り添った診療を心がけてまいります。

【資格】
日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医・指導医／母体保護法指定医

新任Dr・新任職員のご紹介



診療科
内科
後期研修医2年目

コンサコン カナナート
KONGSAKON KANANART

一言コメント

タイからまいりました、KONGSAKONです。医師として4年目であり、現在後期研修医 内科の2年目です。皆さんが安心できる環境の手助けができるように尽力したいと思います。よろしくお願ひいたします。



診療科
放射線科
技師長

まえだ かつひこ
前田 勝彦

一言コメント

日々進歩する医療の中で各診療科の医師と連携して早期診断、早期治療に役立つ画像の提供に力を入れていきたいと思います。また市民の皆さんに安心して検査を受けていただけるように被ばくの低減にも努めています。



診療科
緩和ケア内科

すがの えりこ
菅野 絵理子

一言コメント

公認心理師の菅野絵理子と申します。これまで大阪市内の総合病院で働いていました。市立芦屋病院では、皆さんのお話をしっかりと聴かせていただき、皆さん的心に寄り添った心理支援ができるよう努めています。

血液・腫瘍内科のご紹介

いけだ ひろかず
血液・腫瘍内科 部長 **池田 弘和**



厚生労働省の統計によると、日本人の死因は1981年以来ずっと悪性新生物(がん)が第1位を占め、2020年のデータでは第2位が心疾患、第3位が老衰、第4位が脳血管疾患でした。およそ2人に1人は一生のうち何らかのがんに罹患し、約4人に1人ががんで亡くなると推定され、その診断と治療は医療における重要な課題です。

がんの診断は、それぞれの臓器を専門とする診療科で診察・画像検査・病理検査等により行われ、治療は進行度や患者さんの状態、意向によって選択されます。原発臓器にもありますが、病変部位が限局している場合には一般的に外科的手術療法、内視鏡治療や放射線療法が第一選択です。一方血液のがんや病変が限局しない進行期では、全身的な薬物療法が重要になります。

当科では内科的な薬物療法により、血液内科領域では白血病・骨髄異形成症候群・多発性骨髄腫・悪性リンパ腫などの血液のがんを、腫瘍内科領域では肺癌・大腸癌・胃癌・膵癌・乳癌・卵巣癌などの固形がんを対象に、治療を行っています。がんの薬物療法は、従来の殺細胞性抗がん剤に加え、分子標的療法や免疫療法など新しい機序で働く薬剤が多数使用できるようになり、日進月歩を遂げています。血液領域の適応症例には当院で自家末梢血幹細胞移植(自身の造血幹細胞使用)を行い、同種造血幹細胞移植(適合するドナーからの移植)が必要な場合には、大学病院やがんセンターと連携しています。学会のガイドラインに沿った標準治療(現時点で推奨される治療)を中心に、患者さん・ご家族と相談しながら最も適切な治療を進めていきます。また血液領域では腫瘍に限らず、さまざまな貧血・血小板減少症など血液疾患全般を診療しています。



当院には放射線治療設備はありませんが、必要な時には近隣の放射線治療施設と緊密な連携を

取って、治療を進めています。またがん治療と併行して院内緩和ケアチームや緩和ケア内科と連携し、患者さん・ご家族の身体・精神・社会面など多方面の苦痛の軽減・緩和を図れるように取り組んでいます。



2022年4月現在、当院血液・腫瘍内科には4名の常勤医と1名の後期研修医が在籍しており、常勤医のうち3名が日本血液学会血液専門医(指導医2名)、2名が日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医(指導医1名)、1名が日本緩和医療学会暫定指導医の資格を有しています。

がん化学療法のご紹介

がん化学療法看護認定看護師

かわぐち さえこ よしだ ゆみこ
川口 況子・吉田 由美子

がん化学療法について

がん化学療法は、点滴や内服で抗がん剤を身体に投与する治療法で、「手術療法」「放射線療法」に並ぶ、がん治療の三本柱のひとつです。支持療法(薬の副作用を軽減させる治療やケア)の発展や治療中のQOL(生活の質)が重視されるようになったことで、最近では外来での治療が主流となってきており、当院でも6割以上の方が外来でがん化学療法を受けています。

外来化学療法室は外来棟4階西受付の隣にあり、安楽な姿勢で治療を受けていただけるよう、リクライニングシートを備えています。専任の薬剤師と看護師が常駐し、安全な抗がん剤の調剤や投与管理に努めています。また、治療中でも副作用をコントロールしながら、普段と変わらず生活していただけるように、パンフレットや体調管理日誌を使用して、薬剤の説明や体調確認、自己管理のサポートを行います。



外来化学療法室

当院には外来、病棟にがん化学療法看護認定看護師が在籍しており、常に連携を図っています。そのため治療の場が入院、外来どちらであっても、安心して治療を受けていただけます。また、日常生活の過ごし方や、副作用を予防するための行動を一緒に考えることで、治療効果が最大限得られるよう支援しています。告知後や治療変更時などの、患者さんやご家族の不安は図り知れませんが、その思いを共有し、支援に努めたいと考えています。必要に応じてサポートチーム(がん治療および療養中における症状緩和に向けた取り組みを行う多職種チーム)と連携し、患者さんやご家族が抱える様々な悩みにも対応しています。病気や治療、療養生活に関する気掛りや心配事がございましたらお気軽にご相談ください。

お薬の調整

外来化学療法室に安全キャビネットを設置し、清潔な環境で抗がん剤の調整を行っています。より患者さんに近いところで薬の調整を行うことで、治療のことや副作用のことについて気軽に声を掛け合える環境作りに努めています。

抗がん剤は副作用が他の薬と比べて、頻度も高く程度も強いことから、患者さんに安全な治療を受けてもらえるよう、医師、看護師と共に日々相談して最良の治療を検討しています。

薬剤師 見田 秋与志



安全キャビネット

市立芦屋病院 無料Wi-Fiサービス開始



令和4年4月1日より、当院を利用される方の利便性向上のため、全棟において無料Wi-Fiサービスをご利用いただけます。
詳しくは病院ホームページまたは院内掲示にてご確認ください。

公開講座

問合せ：芦屋市立公民館 0797-35-0700

時間 14時～15時30分 場所 芦屋市民センター401号室 参加費 1回 200円

日程	内 容	講 師
4月9日(土)	糖尿病教室	市立芦屋病院 糖尿病・内分泌内科 細屋 浩之 医師 管理栄養士 澤田 かおる
5月14日(土)	下肢静脈瘤	市立芦屋病院 外科 田守 登茂治 医師
6月11日(土)	整形外科・リハビリテーション関連	市立芦屋病院 整形外科 城山 晋 医師 理学療法士 田村 宏

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止になる可能性があります。市立芦屋病院ホームページをご覧いただくか、上記の芦屋市立公民館へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

連携医療機関制度に 30医療機関が追加されました

QRコードは
こちらです

芦屋市内10医療機関、市外20医療機関が新たに登録医療機関に

追加されました。当院ホームページから連携医療機関ホームページへアクセスできます。

【連携医療機関URLホームページ】

<http://www.ashiya-hosp.com/gairai/iryoukikan.html>

ねっと版糖尿病教室のお知らせ

閲覧自由

現在集合型糖尿病教室開催は中止しております。

そこで、糖尿病療養について

【ねっと版糖尿病教室】として情報発信をしております。

www.ashiya-hosp.com/kyoushitsu/tounyou.htmlQRコードは
こちらです

事業管理者のつぶやき

市立芦屋病院 事業管理者 佐治文隆

ギリシャ文字

ギリシャ語は約3400年前に古代ギリシャ人が用いだし、インド・ヨーロッパ語族の中ではもっとも古い言語といわれます。ギリシャ文字で記録されるようになったのは紀元前9世紀のこと、英語をはじめ他言語に大きな影響を与えてきました。古代ギリシャ文学といえば、抒情詩人オメロスによる「イーリアス」や「オデュッセイア」が有名ですが、紀元前8世紀ごろの作品と思われます。しかし、この時代の抒情詩は文字で書かれたものではなく、多くは盲人の口承詩人によって口伝で語られていました。わが国の「耳なし芳一」のような琵琶法師を想像しますが、障壁がある故に記憶力などが人並み以上であった可能性があります。したがって、これらの作品がギリシャ文字に編纂されたのは200年後の紀元前6世紀と推測されています。また18世紀に発見された古代エジプトの遺物ロゼッタ・ストーンは紀元前2世紀の作といわれ、神聖文字(ヒエログリフ)、民用文字(デモティック)とともにギリシャ文字が刻まれていました。3種の文字で書かれた内容が同一であろうとの仮定のもとに、ヒエログリフはギリシャ語部分を足掛かりにして解読されました。

ギリシャ文字は α 、 β 、 γ からはじまり、24文字で構成されます。表音文字で、ローマ字のもととなっていて、私たちが使う「アルファベット」という言葉は、ギリシャ文字の α (アルファ)と β (ベータ)がその語源になります。現代ではギリシャ語だけがギリシャ文字を使用していて、ギリシャ語を公用語とするギリシャ共和国とキプロス共和国でのみ用いられています。

とはいってもギリシャ文字から派生した文字も多く、ラテン文字はその代表でしょう。またギリシャ文字はギリシャ語圏以外でもシンボルとしてさまざまな分野で使われています。とくに数学、物理学、化学、統計学など主として自然科学の領域で用いられます。例え

ば数学では、 Δ (デルタ)は変数の前につけるとその変数の僅かな変化を意味し、 Σ (シグマ)は総和を表し、 π (パイ)は円周率を示します。放射線には α (アルファ)線、 β (ベータ)線、 γ (ガンマ)線、 X (エックス)線がありますが、 X 線を除いてはギリシャ文字が使われています。

新型コロナウイルス感染(COVID-19)第6波で猛威を振るったオミクロン変異株で一躍有名になった「オミクロン」もギリシャ文字に由来しています。世界保健機関(WHO)は2021年5月に新型コロナウイルスの変異株の命名システムを発表し、ギリシャ文字を使って表記することになりました。それまでは、イギリス型変異株、南アフリカ型変異株、ブラジル型変異株、インド型変異株と最初に特定された国名をつけて呼ばれていた変異株は、それぞれ「アルファ」「ベータ」「ガンマ」「デルタ」と呼称されることになりました。これは変異株を特定した国が偏見の対象となることを懸念したためです。変異株はギリシャ文字の順に、 α 、 β 、 γ 、 δ (デルタ)、 ε (イプシロン)、 ζ (ゼータ)、 η (イータ)、 θ (シータ)、 ι (イオタ)、 κ (カッパ)、 λ (ラムダ)、 μ (ミュー)と命名され、2文字飛んで \circ (オミクロン)が名付けられました。ギリシャ文字のアルファベット順である ν (ニュー)と続く ξ (クサイ)がなぜ採用されなかったのか、色々憶測がありましたが真相は不明です。

WHOは変異株の中でも感染力の強いものやワクチンの効果が下がるものを見出された変異株(Variant of Concern ; VOC)と分類し、 α 、 β 、 γ 、 δ 、 \circ を指定しています。またワクチン効果に影響を与える可能性を持つものを「注目すべき変異株(Variant of Interest ; VOI)」と分類、 ι 、 μ がこれに相当します。 \circ はギリシャ文字アルファベット24文字の15番目に位置します。あまり想像したくないのですが、このまま変異株が増え続けると最後の文字 ω (オメガ)まで使い切らなければなりません。おぞましい想像をしてしまいます。

新型コロナウイルスの情報は、厚生労働省ホームページやWHOホームページの利用をお勧めします。くれぐれもフェイクニュースに惑わされないようにしてください。

(2022.4.1)

事業管理者のつぶやきについてはホームページにも連載しておりますのでぜひご覧下さい。

市立芦屋病院 ご案内



●●●交通案内●●●

JR 芦屋駅、阪急芦屋川駅から

- タクシー 約7分
- バス 約25分
JR芦屋駅、阪急芦屋川駅 のりば2番
- 徒歩 約30分

※ 病院ネットワークバスもご利用ください 無料

市立芦屋病院の理念

病院理念
あい（愛）・しあわせ（幸福）・やさしさ（優しさ）

基本理念

芦屋市の中核病院として 地域社会に貢献します
患者の意思を尊重し 最善の医療と癒しを提供します



日本医療機能評価機構 認定施設(3rd G : Ver. 2.0 一般病院2)

市立芦屋病院

〒659-8502 芦屋市朝日ヶ丘町39-1

TEL:0797-31-2156 FAX:0797-22-8822

ホームページ <http://www.ashiya-hosp.com>